

様式第1号①（第6条関係）

記載例（表）

令和 年 月 日

島根県知事 様

島根県私立高等学校等及び私立高等学校等専攻科奨学のための

申請書を記入した日を記入してください。

次の4点 **必ず確認の上、口に✓を付けてください。** さい。

- この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、島根県の求めに従いその全額を即時返還します。
- 私は島根県以外の都道府県に奨学のための給付金（高校生等奨学給付金）の申請は行っておりません。
- この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

確認のうえ、必ずチェックを付けてください。（申請者は全員）

誓約欄	申請者（保護者等）氏名 島根 花子
-----	-----------------------------

島根県私立高等学校等奨学及び私立高等学校等専攻科のための給付金の受給を（変更）申請します。

申請者（保護者等）住所・連絡先	〒 690 - 8501 松江市殿町1番地 TEL (090) 0000 - 0000	ふりがな 申請者（保護者等）氏名	しまね はなこ 島根 花子
高校生等との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 親権者 ・ 未成年後見人 ・ 未成年後見人である里親 ・ 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 高校生等本人 ・ その他（ ）		

※専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」と、「高校生等」を「生徒」と読み替えるものとする(以下同様)。
※連絡先は、日中に連絡が取れる電話番号を記載してください。申請書の内容について連絡をさせていただく場合があります。

【1. 対象となる高校生等について】

ふりがな	しまね じろう		生年月日	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	〇〇 年 〇 月 〇 日
生徒氏名	島根 二郎				
在学する学校	学校名	島根高等学校		設置区分	私立
	学校の種類・課程・学科	高等学校（全日制）・普通科		在学期間	平成 <input checked="" type="radio"/> 令和
	学校の所在地	島根 都道府県 松江 市区町村 殿町8番地		※別紙「記入上の注意」1のハを参照してください。	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外
高等学校等における過去の在学期間	学校名	島根県立松江高等学校	平成・令和 <input checked="" type="radio"/> 〇年4月1日 ～平成・令和 <input checked="" type="radio"/> 〇年3月31日	学校の種類・課程・学科	高等学校（全日制）・普通科
	学校名			在学中に給付金を受給した回数	なし 1回 2回 3回 4回 不明 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				在学中に給付金を受給した回数	なし 1回 2回 3回 4回 不明 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

過去に学していた学校がある場合は記入してください。

(同じ学校に1年生、2年生又は3年生の兄弟・姉妹がいる場合)

ふりがな	しまね さぶろう		生年月日	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	〇〇 年 〇 月 〇 日
生徒氏名	島根 三郎				
在学する学校	学校名	島根高等学校		設置区分	私立
	学校の種類・課程・学科	高等学校（全日制）・普通科		在学期間	平成 <input checked="" type="radio"/> 令和
	学校の所在地	島根 都道府県 松江 市区町村 殿町8番地		※別紙「記入上の注意」1のハを参照してください。	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外
高等学校等における過去の在学期間	学校名	立	平成・令和 年 月 日 ～平成・令和 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	学校名	立	平成・令和 年 月 日 ～平成・令和 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数

→ 【2. 保護者等の収入の状況について】（裏面）へ進んでください。

裏面へ

【2. 保護者等（専攻科の場合は生計維持者）について】

記載例（裏）

ア. 生業扶助受給世帯

(1) 生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書を提出します。（☑を付けてください。→生業扶助受給世帯は記載終了）

生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる

生業扶助を受給している世帯はここまでで記入終了です。

イ. 道府県民税所得割及び市町村民税所得割非課税等の世帯

(2) 次の者の課税証明書等及び（記入上の注意【生計維持者の収入等の状況について】ホに該当する場合）扶養親族申告書を提出します。（①～⑥）

①	<input checked="" type="checkbox"/> 親権者（両親）2名分 未成年者	ここからは、生業扶助を受給していない、県民税・市町村民税の所得割が非課税（0円）世帯又は専攻科の世帯に該当する場合に記入してください。
②	<input type="checkbox"/> 親権者1名分 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等	
③	<input type="checkbox"/> 未成年後見人（ ）名分 複数選任されている場合は、全 ※未成年後見人が、法人である場合は、その者を除く	注意！申請時までに成人した場合 成年年齢引き下げに伴い、入学時点又は在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請時まで生計を維持する者に変更がない場合は、④または⑤を選択してください。
④	<input type="checkbox"/> 高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）2名分 入学時点又は在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点までに生計を維持する者に変更がない場合	
⑤	<input type="checkbox"/> 高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1名分 ・入学時点又は在学中に成人した場合で、未成年の時点で親権者が1人だった場合 ・入学時点又は在学中に成人した場合で、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 ・未成年であるが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等	
⑥	<input type="checkbox"/> 高校生等本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等	

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」と、「高校生等」を「生徒」と読み替えるものとする（以下、同様）。

(3) 次の理由により、課税証明書等を提出しません。

所得確認の対象が高校生等本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

(4) 課税証明書等を添付する者の氏名及び生徒との続柄（(3)の場合は記載不要）

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
島根 太郎	父	島根 花子	母

※ (2) 及び (3) に該当する場合は、下記内容を確認のうえ、☑を付けてください。

私の世帯は、認定基準日において、生活保護法（平成25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。

確認のうえ、必ずチェックを付けてください。（道府県民税所得割及び市町村民税所得割非課税世帯のみ）